

普及活動情勢報告（令和5年7月分）

中央西農業振興センター農業改良普及課

土づくりと農業簿記の基礎を学ぼう ～農業基礎講座を開催～

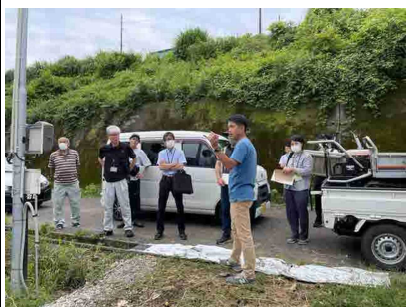


6月21日、29日、中央西農業振興センターで新規就農者等を対象に農業基礎講座「土づくり」と「農業簿記」を開催し、延べ21人が参加しました。

農業改良普及課からは、作物にとってよい土とは何かや、決算書の見方等について講義しました。講義後のアンケートから、内容については「分かりやすかった～やや分かりやすかった」が多く、「作の間の短い場合のpH調整はどうすればよいか」、「今後の講座も引き続き受講したい」等の声がありました。

農業改良普及課では、今後も講座を開催して新規就農者等の栽培技術、経営改善支援を行っていきます。次回は、8月9日に「病虫害防除、農薬安全使用の基礎」を開催します。

いの町農業公社のより良い研修体制を目指して ～黒潮町農業公社の研修受入れ体制等の視察研修を実施～



6月23日、いの町農業公社といの町役場吾北支所産業課の職員と共に9人で、黒潮町農業公社の視察研修を行いました。

この視察は農業改良普及課が提案し実現したもので、黒潮町農業公社の職員からは、研修中のしっかりした指導体制だけでなく、卒業後の中古ハウスの確保、斡旋などの卒業に向けた体制を整えることの必要性を教わりました。

後日、公社の若手研修指導者から「黒潮町の公社のように、いの町農業公社が吾北の成功モデルを作り出せるよう研修体制を整えたい」との意見も出る等、とても有意義な視察となりました。

今後も、公社の経営安定を目指し、若手研修指導者を中心とした支援を続けます。

水稻の水管理に熱中症対策、どちらも大切！ ～いの町（農）上東営農組合で水稻栽培技術等研修会を開催～



7月5日、いの町吾北の旧上東小学校で、（農）上東営農組合の研修会が開催され、組合員13人、関係機関7人が参加しました。

農業改良普及課からは、水稻の水管理やいもち病、ごま葉枯病、斑点米カメムシ類の防除について説明しました。さらに、労力サポートのアシストスーツの紹介・試着、草刈機の安全使用や熱中症対策について注意喚起しました。

特に、アシストスーツは「組合で購入して、貸し出して欲しい」等熱い声があがりました。

農業改良普及課は、今後も酒米の実証ほや現地巡回を通じ、栽培技術や農機更新の課題等を組合と一緒に協議し解決に向けた支援を行っていきます。

土佐市ピーマン出荷場の雇用確保をめざして
～農福連携の先進事例調査を実施～



7月12日、土佐市産業振興課、福祉事務所、JA高知県とさし営農経済センターの職員と共に総勢7人で、JA土佐くろしおで行われている農福連携の取組について、先進事例調査を行いました。

最初に、ミョウガ包装ラインで働くB型作業所の皆さんの作業を見学した後、JA土佐くろしおの取組の経過や工夫していること等について、担当者の方からお話を聞きました。土佐市でも農福連携を検討しており、参加者から、事故やトラブルの発生を懸念する質問が出されましたが、「毎日の作業の打合せを、作業所の職員としっかり行えば問題は起こらない」との回答を聞き、推進に向けての機運が強まりました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、農福連携の取組を支援していきます。